

『子どもは未来！甲賀に進風を！』

甲賀市議会議員

すすむ

議会報告書

ふくい 進 通信 第6号

〒520-3322 甲賀市甲南町深川 1 6 2 8 発行責任者 福井 進
TEL 090-1890-9302 FAX 0748-86-7860 Mail ruijifukui@yahoo.co.jp



あなたの声^{こえ}を市政^{しせい}につなぐ！

～ あなたの声を聴かせてください
あなたの思いを市政につなげます ～

お陰さまで、たくさんの声を届けていただき、忙しく仕事をしております。もちろん、すぐにつながることはありませんが、精一杯みなさんと共に、誰もが住みたい「まちづくり」に取り組んで参ります。何卒、ご支援・ご協力をお願いいたします。



三月議会^{さんがつきかい}…2023年度予算^{ねんどよきん}について

3月議会において「2023年度の予算」が承認されました。これまで、みなさんからいただいた思いが市政に「つながる」…そんな予算の一端を紹介します。

民生児童委員^{みんせいじどういん}・スクールガードさん^{こえ}の声^{こえ}…遠距離通学^{えんきよりつうがく}費^ひ支援^{しえん}（拡充^{かくじゆう}）

昨年夏、「低学年の児童が下校時に熱中症になった」という連絡をいただきました。近年の猛暑で帰には水筒も空っぽ、下校の時に水分を準備してくださる地域の方もおられます。

そこで、遠距離通学や一人で通学する等、不安な状況となっている子どもたちが、バス等の公共交通機関を利用できる予算が拡充されました。どの範囲まで拡充できるかは検討中ですが、現状を心配するみなさんの声が少しつながりました。

学校現場^{がっこうげんば}からの声^{こえ}…ICT教育環境整備事業^{きょういくかんきようせいびじぎょう} 他^{ほか}（拡充^{かくじゆう}）

昨年、多くの先生から「子どもたちが使っているタブレットのメーカー・機種がバラバラで困っている。」「特別教室の多くがエアコン未設置のまま！」等の声をいただき、県内の状況を調べた上で議会で訴えました。そこで、新年度から小学生のタブレットを統一、その後中学校においても統一する予算が組まれることになりました。また、エアコンの設置については残っている91教室（小学校68・中学校23）の整備を、進んでない学校から順に設置していくことになりました。また、他の市町で進んでいる「留守番電話システムの導入」も、残っていた4校に整備し、市内一斉に活用するようになります。

保育現場^{ほいくげんば}からの声^{こえ}…保育体制強化^{ほいくたいせいききょうか}【見守り支援員配置^{みまもりしえんいんはいち}】 他^{ほか}（拡充^{かくじゆう}）

園児の見落とし事故防止と保育士さんの業務の負担軽減を図るために、園外活動時や繁忙な時間帯に保育支援員を配置する予算補助が拡充されます。また、おむつ処理の費用援助が新設されました。

全国で起こっている「保育士不足」の解消のため、人材確保にも取り組まなければなりません。子どもの安全・安心のためにも、「休暇が取れず、トイレにも行けない。」という労働環境の改善が必要です。

『子どもは未来』…『子育て』に関わるお父さん・お母さんたちが、
「保育・教育」に関わる保育士さん・先生方が、
「ゆとり」と「やりがい」の持てる社会を共に創る！

それ以外にも、みなさんの声に応える予算が…！

乱開発等の環境破壊を心配する声	…	再生エネルギー実施検討調査（新設）
運営ボランティアさんの声	…	フードバンク運営支援（拡充）
除草作業に困っている地域の声	…	市道維持管理事業[除草]（拡充）

(4 ページに続く)

つながらなかったものも…！

「水口スポーツの森^{みなぐち もり}」の整備事業^{せいびじぎょう}

水口スポーツの森の整備に関して、

「民間のプールは高額で、家族4人ではなかなか行けない！市民プールの再整備を！」

「夏休み、猛暑の中で子どもの遊び場がない！市民プールを復活させてほしい！」

子育て世代の方から老朽化に伴い閉鎖されている「プールの再建」を望む声を聴き、その思いを「市民プールのある甲賀市に！」と訴えました。担当課からは、「プールは営業期間が短く、監視員の配置等、建設だけでなく、運営の経費もかさむために困難。…限りある財源で、より多くの市民が楽しめる『公園づくり』を進めます。」という返答でした。その後、パブリックコメント（公開・意見聴取）が実施され、雨の日も遊べる「屋内遊技場」の他に、「水遊びゾーン」が整備される計画となっています。

さんがつていれいかい いっぱんしつもん 三月定例会…「一般質問」

きょういんぶそく げんじょう かだい 「教員不足」の現状と課題

2021年度の文部科学省の調査で、4月始業日時点で、本来学校に配置すべき教職員数を満たせない状態「教員未配置」が、全国の公立学校の5.8%に当たる1897校、2558人に上りました。

表1・・・(滋賀県…小学校3名、中学校5名)

『教員未配置』とは、欠員に代わる教員が見つからずに「教員が定数に満たない状態」をいいます。そして、その数は、年度途中に増加する傾向にあります。また、本来「常勤」の臨時教職員を配置すべきですが、見つからずに「非常勤」になっている現状があり「教員不足」は、この調査結果以上に深刻な状況になっています。

昨年2月に甲賀市教育委員会に確認したところ、「年度当初の未配置はなく、一時的な未配置状態はありましたが解消しています。しかし、「非常勤」となっているところがあります」という返答でした。

そこで、今年度の現状と対策について、以下の質問をしました。

1. 「教員不足」の現状について

(答弁) 未配置は、年度当初に2名、現在は1名です。非常勤対応は、年度当初はありませんでしたが、現在は8名です。

2. 教員が足りない中で、どのように対応しているのか

(答弁) 担任以外の教務等が担任をし、教頭が授業をするケースもあります。

3. 「教員不足」の要因について

(答弁) 特別休暇(産育休・病欠)取得者の増加とそれに代わる講師の不足が、全国的に起こっています。

4. 「教育の崩壊」との言えるこの状況に関する対策

(答弁) 国・県の動向を注視しながら、多忙化の解消等、市としてできることを学校と連携して進めたいと考えています。

5. 「教育NO.1」に向けた市長の見解

(答弁) 公務支援システムを導入し省力化を図るとともに、市費による教員・支援員等を配置し、働きやすい職場環境整備に引き続いて取り組みます。

昨年10月、市内の中学校から私のところに「理科の先生がいないので、非常勤講師として学校に来てほしい！」という依頼がありました。・・・学校現場からの悲鳴でした。

ますます増える「教員不足」は、より深刻な多忙化を進めます。現在、市内小中学校でメンタルを原因とした休職者が11名に！・・・「教育の崩壊」は、不登校の増加等の様々な問題につながります。

「教育NO.1」を目指す甲賀市ができることを真剣に考えると共に、県・国にも強く訴え続けます。

ほいくしぶそく げんじょう かだい 「保育士不足」の現状と課題

教員不足と同様「保育士不足」は大きな社会問題となっています。2022年度、厚生労働省が発表した統計によると、4月時点における保育士の有効求人倍率は、1.98倍となっています。これは、職を求めている保育士1人に対して、求人が約2倍きていることを意味します。その数値は、毎年4月から11月にかけて急激に増加します。また、滋賀県は、都道府県別で上位となっています。

そこで、現状と対策について、以下の質問をしました。

1. 保育士の定数について

(答弁) 配置基準は、0歳児は3人、1・2歳児は6人、3歳児は20人、4・5歳児は30人に対して1人の保育士を配置することになっています。

2. 「保育士不足」の現状について

(答弁) 公立園全体で、年度途中に4名の欠員等がありましたが、全て常勤職員を配置

3. 保育士が不足する状況で、どのように保育が行われているのか

(答弁) 11時間の開園時間をシフト制で勤務しており、クラス担任のほかに早朝や長時間対応、加配等を適正に配置し保育を実施しています。また、非常勤の保育士を任用して人員配置に努めています。

4. 「保育士不足」の要因について

(答弁) 昨今の低年齢児の就園率の高まり等による保育需要の高まり、医療ケア児の増加等により、多くの保育士が必要となっています。

5. 「子育て・教育NO.1」に向け、「保育士不足」の対策について市長の見解

(答弁) 就職一時金・家賃補助事業・奨学金返還補助等の様々な施策・事業を展開して、人材確保に努めています。引き続き、やりがいのある職場環境の整備等で、人材の確保を行うことで「子育て・教育NO.1」につなげてまいります。

保育士不足は、超過勤務等の多忙化を招き『保育の崩壊』につながります。こども園で起こった「バス置き去り事件」や「保育士による虐待事件」を許すことはできませんが、その背景に大きな課題があります。また、保育士不足は、公立園に比べて私立園の方が深刻な現状にあります。公立園の『統合民営化』を進める甲賀市です。引き続き、安心・安全な保育環境の整備に向けて訴えてまいります。



福井進 議員

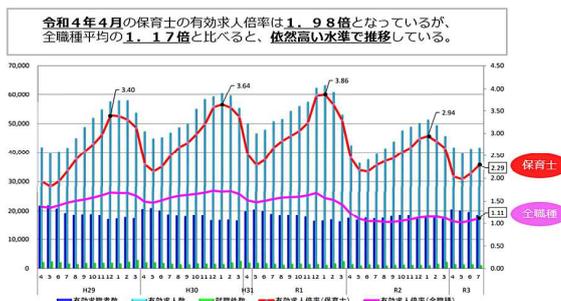
(表1)

2021年度始業日の公立学校の「教員不足」数

	小学校(人)		中学校(人)		小学校(人)		中学校(人)	
	小学校(人)	中学校(人)	小学校(人)	中学校(人)	小学校(人)	中学校(人)	小学校(人)	中学校(人)
北海道	39	27	0	0	0	0	0	0
青森	12	5	6	6	4	1	4	1
岩手	15	8	0	0	0	0	1	4
宮城	17	10	2	1	2	2	2	2
秋田	0	0	6	7	4	4	1	1
山形	0	0	17	9	14	2	2	2
福島	62	23	58	50	0	1	0	1
茨城	58	59	5	7	90	89	6	10
栃木	25	7	3	5	12	5	6	10
群馬	3	0	16	12	48	41	48	41
埼玉	168	87	17	17	33	33	49	43
千葉	78	27	69	79	79	79	11	21
東京	0	0	7	3	3	3	3	2
神奈川	93	53	0	0	0	0	54	21
新潟	0	0	15	6	6	6	1	5
富山	1	1	43	12				

※政令市と大阪府豊能地区の3市2町は含まない

保育士の有効求人倍率の推移(全国)



「^{じんけんそんちよう}人権尊重のまちづくり^{すいしん}」の推進

甲賀市は、合併の直後の2005年1月に「甲賀市人権尊重のまちづくり条例」を施行し、その後、2つの方針と3つの基本計画が策定され、人権課題の解決に取り組んできました。

また、2017年には、これらの方針と計画を統合して、「甲賀市人権に関する総合計画」を制定、昨年度、中間改訂を行いました。そこで、「人権尊重のまちづくり」の推進について、以下の質問をしました。

1. 『人権三法』に関する取り組み

(答弁) それぞれの人権問題に関して、広報紙やホームページ、啓発チラシ、人権教育連続セミナー等の様々な方法で啓発に取り組んでまいりました。

2. 「コロナ差別」に対する取り組み

(答弁) 人権教育セミナーとして「新型コロナウイルス感染症と人権」をテーマとした講演会を WEB 配信するなど、啓発活動にとり組んでおります。相談・支援に対応するための相談員の配置、人権擁護委員による相談体制を整えております。

3. 社会に根ざした差別に対する今後の取組

(答弁) 感染症の状況により、集会型と WEB 配信のハイブリット型の人権教育・人権啓発に取り組んでまいります。

4. 『地域総合センター』の閉鎖・職員の削減について

(答弁) 合併時には 12 か所の地域総合センターがありましたが、現在 6 か所となっています。いずれも地域の実情や要望を踏まえて閉鎖を決定したもので、職員削減は閉鎖に伴うものです。今後の在り方については、人権啓発の拠点として、地域の意見やニーズを尊重しながら取組を進めてまいります。

5. 『人権推進課』の職員の削減について

(答弁) 職員の削減は、組織改編及び分掌事務の変更によるものです。まず、男女共同参画の推進は商工労政課に「女性活躍推進室」を設置、多文化共生の推進は政策推進課に「多文化共生係」を設置し、全庁的な取組を進めております。今後も組織全体を見た中で、適正な人員体制を整えます。

甲賀市の神権推進体制の削減

	年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
人権推進課(市役所)の職員数		16	14	11	9	8	8
地域総合センターの職員数		25	23	19	18	18	17

5年でもともに8名減

6. 「人権尊重のまちづくり」に対する市の見解

(答弁) 近年、新たな人権課題も顕在化してきております。市政のあらゆる施策の基本に人権尊重を置いて、オール甲賀で人権が尊重されるまちづくりの推進に努めてまいります。

「^{きべつ}コロナ差別^{こくふくむけて}」の克服に向けて ～^{つくりなおし}つながりの創り直しを～

「感染症に起因する差別(コロナ差別)」は、人々の意識や社会に根差した差別が、これまで解消されずに依然として存在している現実や人権課題を改めて私たちに提起しました。

「もし、感染したらこの町には住んでいられない!」というような不安を感じた方もたくさんおられました。また、この不安は、「他人に無関心な地域」より、「人のつながりが強い地域」の方が深刻です。

そこで、バラバラになっている人と人の「つながり」を創り直すため、市が主体となり、関係機関と連携して「地区別懇談会」等を開催する必要があると思います。(一般質問の再質問より)



(自主開催の人権学習ー深川区)

「^{ちいきそうごう}地域総合センター^{やくわり}」の役割^{だれひとりとのこさ}について ～^{しやかいむけて}誰一人取り残さない社会に向けて～

同和对策事業が終了した今日、地域総合センターの重要な役割は、差別をなくすための学習・啓発等、「人権尊重のまちづくりの推進」が中心になっています。市内多くの中学校で取り組んでいる「沖縄修学旅行」も、宇川会館と沖縄のつながりが水口中学校へとつながり、市内に広がっていったものです。人権尊重のまちづくりの拠点としての「地域総合センターの役割」をしっかりと果たすための体制づくりが重要だと考えます。



福井進 議員

25年前、私は甲西町教育委員会に出向し「地域総合センター」に3年間勤務しました。水口町で起こった痛ましい結婚差別事件の直後でした。3年後、転勤のあいさつと引継ぎのため、地域内の家庭訪問をした時、一人暮らしのおばあさんから「二階のベットを下ろしてほしい」と頼まれました。会館にはほとんど来られない方でした。事情を聴くと「5年ほど前から足の具合が悪くなり、二階に上がれず仕方なく布団で寝ている」とのことです。すぐに人を呼んでベットを下ろした後、「もっと、早く言ってくれたらよかったのに」と言うので、

「他人に散らかった家に入られるのは恥ずかしい、先生も忙しいやろ、とあって・・・!」と。

「誰一人取り残さない社会」を本気で目指すなら、待っているだけの相談窓口では実現できません。

今日まで、地域総合センターで行ってきたような「ちょっとおせっかいな家庭訪問」が必要です。

相談の窓口は、開けているだけでは不十分、窓口から声をかけ、声を聴く。

「一番わかってほしいことは、一番いいにくいこと!」…これがヤングケアラーの声ですから!

(地域総合センター条例の一部改正に対する質疑より)

* 下記のサイトから、質問・答弁のようすがインターネット録画でご覧いただけます。

<https://gikai.city.koka.lg.jp/schedule/index.html>

みんなの^{こえ}声で、「誰も^{だれ}が^す住みよいまちづくり！」

ひとり^{ひとり}の^{こうこうせい}高校生の^{こえ}声から

夏休み明けの9月初旬、入院中の私に高校生から「通学路の舗道の雑草」に関する連絡がありました。退院後、直ぐに現場に行き写真を撮って市役所の窓口に行くと、「県道ですので、県の土木事務所に連絡しておきます。」と言われ、私も「これから県事務所に行くので、市役所からも連絡をお願いします。」と職員さんに告げ、県事務所に現状を訴えました。

ひとりの高校生の「気づき」から、もともと10月末に予定されていた除草作業が9月に実施され、たくさんの方の通勤・通学の人たちの住みよさにつながりました。

また、一昨年から訴えてきた「真っ暗な水口橋」にも、10数基の発光灯が設置されました。

(残念ながら、橋上の街灯設置は、構造上できないそうです)



草で覆われた通学路 (9月中旬)



除草がされた通学路 (9月末)



水口橋に設置された発光灯

ひとり^{ひとり}の^{おとな}大人の^{こえ}声から

木枯らしの吹く11月の末、地域の方から「水口衛生センターと希望ヶ丘団の間の竹林」に関して、次のような連絡がありました。

「道路の右側は竹が舗道にかぶり、左側も雪が積もったら竹が道を覆って通行ができなくなる」・・・(写真参照)

というものでした。私も毎日のように通行する道で、雪の朝大渋滞に巻き込まれたことがありましたが、その現状を「ほっといたらあかん！」と、私は感じていなかったのです。

ここは、昨年「防犯灯を新設してもらった場所」、直ぐに市役所ではなく、県事務所へ行って写真を見せて現状と伝えました。

このことを『Facebooks』に投稿すると、次のようなメールが！

「山川沿いの森尻にも大渋滞をする場所がある」というものです。

こちらは直ぐに市役所へ行き写真を見せて現状を伝えました。甲賀市内には、このような場所がたくさんあると思いますので、公平な判断で優先順位をつけて「冬支度」をするようにお願いしました。

年末には、森尻の市道、希望ヶ丘ー水口線の県道の竹が伐採され、雪の多かった今年の冬も無事に過ごすことができました。

市議会の広聴部会でも市民の声を聴くために『懇談会』を実施しました。その中で、

「高齢化が進み、今までできていた市道の草刈りがしんどくなってきた！」等、

たくさんの方の声を聴かせていただき、市道の除草作業等の予算が大幅に拡充されました。(1ページ参照)



竹藪伐採前の県道 (11月末)



伐採後の市道 (森尻区)



竹藪伐採後の県道(12月末)



新しくできた舗道 (潤団地付近)



JR沿い市道に新設された防犯灯



修繕された市道 (深川区)

限りある財源ですから、

「全て」と言う訳にはいきません。

だからこそ、みんなの声で

『住みよいまちづくり』を共に！です。



ホームページ



Facebook

ご意見・ご要望の問い合わせ先は、ホームページまたは表紙にも記載しております。日常の活動等については、Facebookをご覧ください。

